



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 サクサホールディングス株式会社

コード番号 6675 URL <http://www.saxa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 越川 雅生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 井上 洋一

TEL 03-5791-5511

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,661	△18.9	206	△64.7	143	△65.1	64	—
23年3月期第2四半期	21,764	24.9	583	—	410	—	△143	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 37百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △202百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.06	—
23年3月期第2四半期	△2.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	41,904	22,848	54.2
23年3月期	43,397	22,993	52.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,708百万円 23年3月期 22,853百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	△0.9	1,000	△12.3	900	△12.6	500	73.0	8.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	62,449,621 株	23年3月期	62,449,621 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,924,843 株	23年3月期	1,922,015 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	60,525,894 株	23年3月期2Q	60,724,674 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済においては、東日本大震災の影響によりサプライチェーンの混乱、電力不足による生産活動の低下や自粛ムードなどが起こりましたが、経済活動は徐々に回復に向かっています。一方で、欧州の財政問題や米国景気の減速懸念に加え、円高や株安など先行きの不透明感が増してまいりました。

当企業グループは、中期経営戦略に掲げた「経営基盤の強化」と「事業の拡大」に継続して取り組むとともに、東日本大震災の影響を最小化すべく努力してまいりましたが、原材料の調達問題の影響による生産の減少や受注の遅れを挽回するには至りませんでした。事態は解消してきており、今後とも継続して挽回策に取り組んでまいります。

「経営基盤の強化」につきましては、安定した収益体質を構築するため、平成23年4月1日付でグループ内サービス機能を持つ2社を統合いたしました。また、東日本大震災による電力不足に対応するためシフト制の生産体制によって、その影響を最小限にとどめるとともに、業務の効率化と総原価の低減に努めてまいりました。

「事業の拡大」につきましては、当企業グループのコアコンピタンスであるネットワーク技術、デジタル技術、セキュア技術を融合させた商品の開発を継続的に進め、お客様視点に立った安心、安全、快適、便利を実現するソリューションの提供を目指してまいりました。その一環として、モバイル連携を強化したフルIPキーテレホンシステム「Agrea MP1000」とオフィスの利便性を向上させるスマートフォン連携アプリケーション「Mobile EX」を提供したことに加え、東日本大震災以降、要求の高まっている電力や温度の見える化、高齢者の見守りなどを実現させるために、電池で動作し複数センサ機能を備えた低消費電力無線LANセンサ「WL100」を開発し、サンプル販売を開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災の影響による原材料の調達問題から生産の減少や受注の遅れが発生したことなどにより176億6千1百万円(前年同期比 18.9%減)となりました。利益面では、総原価の低減に努めてまいりましたが、経常利益が1億4千3百万円(前年同期比 65.1%減)、四半期純利益が6千4百万円(前年同期純損失 1億4千3百万円)となりました。

分野別の営業の概況は、次のとおりです。

#### ① ネットワークソリューション分野

ネットワークソリューション分野の売上高は、94億3千2百万円(前年同期比 3.5%減)となりました。これは、キーテレホンシステムが減少したことによるものです。

#### ② セキュリティソリューション分野

セキュリティソリューション分野の売上高は、82億2千9百万円(前年同期比 31.4%減)となりました。これは、加工受託している部品が減少したことによるものです。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に対し1億4千4百万円減少し228億4千8百万円となり、総資産は14億9千2百万円減少し419億4百万円となりました。その結果、自己資本比率は54.2%となりました。

増減の主なものは、以下のとおりです。

流動資産では、売上債権が回収により11億7千9百万円減少いたしました。第3四半期に売り上げるための商品及び製品が8億1千1百万円増加いたしました。

固定資産では、有形固定資産が2億8千1百万円、無形固定資産が1千7百万円それぞれ減少し、また、投資その他の資産が前払年金費用の減少などにより3億1千1百万円減少いたしました。

負債では、長短借入金および社債が3億7千8百万円、未払金が4億6百万円それぞれ減少いたしました。

キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億4百万円減少し、66億3千7百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上に加え、減価償却費の計上、売上債権の減少などにより10億7千8百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新商品の開発に伴うソフトウェアおよび金型の取得などにより12億1千2百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金の返済および社債の償還ならびに配当金の支払いなどにより5億6千8百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の影響は解消してきておりますが、10月に発生しましたタイの洪水による影響が懸念される状況にあります。当企業グループは、その影響を最小限にとどめるよう取組んでまいりますが、タイの影響については現時点において合理的に予測することが極めて困難であることから、通期予想には含まれておりません。

なお、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月26日に公表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

また、業績予想につきましては、現時点における事業環境に基づき当社が判断したものであり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,380	6,639
受取手形及び売掛金	8,938	7,759
商品及び製品	2,018	2,829
仕掛品	852	786
原材料及び貯蔵品	3,094	3,526
繰延税金資産	1,099	1,115
その他	783	636
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	24,149	23,276
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,745	8,669
その他（純額）	2,840	2,634
有形固定資産合計	11,585	11,303
無形固定資産		
ソフトウェア	3,438	3,463
のれん	211	195
その他	140	114
無形固定資産合計	3,790	3,773
投資その他の資産	3,842	3,531
固定資産合計	19,218	18,608
繰延資産	28	19
資産合計	43,397	41,904

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,455	5,537
短期借入金	2,240	2,112
1年内償還予定の社債	412	1,196
未払金	851	444
未払費用	1,295	1,245
未払法人税等	505	263
未払消費税等	213	119
製品保証引当金	318	316
役員賞与引当金	32	25
その他	535	566
流動負債合計	11,860	11,828
固定負債		
社債	1,316	217
長期借入金	1,696	1,760
繰延税金負債	1,082	860
退職給付引当金	2,903	3,062
役員退職慰労引当金	65	40
負ののれん	817	681
その他	661	604
固定負債合計	8,543	7,227
負債合計	20,403	19,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,331	6,331
利益剰余金	7,038	6,921
自己株式	△1,117	△1,118
株主資本合計	23,088	22,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△242	△270
為替換算調整勘定	7	7
その他の包括利益累計額合計	△235	△263
少数株主持分	139	140
純資産合計	22,993	22,848
負債純資産合計	43,397	41,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,764	17,661
売上原価	15,744	12,246
売上総利益	6,019	5,414
販売費及び一般管理費	5,436	5,207
営業利益	583	206
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	38	36
負ののれん償却額	136	136
その他	28	26
営業外収益合計	205	200
営業外費用		
支払利息	52	39
退職給付会計基準変更時差異の処理額	150	150
為替差損	128	38
その他	46	35
営業外費用合計	378	264
経常利益	410	143
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	22	17
固定資産売却損	1	18
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	415	29
貸倒引当金繰入額	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	—
特別損失合計	445	66
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△34	77
法人税、住民税及び事業税	162	250
法人税等調整額	△43	△239
法人税等合計	119	11
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△153	66
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△143	64



四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△153	66
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△28
繰延ヘッジ損益	△0	—
その他の包括利益合計	△49	△28
四半期包括利益	△202	37
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192	36
少数株主に係る四半期包括利益	△10	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△34	77
減価償却費	1,252	1,202
のれん償却額	34	16
負ののれん償却額	△136	△136
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	364	159
前払年金費用の増減額(△は増加)	—	310
製品保証引当金の増減額(△は減少)	13	△2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△27	△25
受取利息及び受取配当金	△40	△38
支払利息	52	39
為替差損益(△は益)	5	1
社債発行費償却	10	9
投資有価証券売却損益(△は益)	1	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	415	29
固定資産売却損益(△は益)	1	18
固定資産除却損	22	17
売上債権の増減額(△は増加)	1,238	1,179
たな卸資産の増減額(△は増加)	△596	△1,176
仕入債務の増減額(△は減少)	403	80
その他	70	△307
小計	3,040	1,445
利息及び配当金の受取額	40	38
利息の支払額	△55	△42
法人税等の支払額	△59	△362
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,965	1,078

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	36
有形固定資産の取得による支出	△153	△175
有形固定資産の売却による収入	0	56
無形固定資産の取得による支出	△794	△1,122
投資有価証券の取得による支出	△5	△13
投資有価証券の売却による収入	14	5
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△938	△1,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	—	△200
長期借入れによる収入	200	480
長期借入金の返済による支出	△620	△344
社債の償還による支出	△235	△313
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△179
その他	△0	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△657	△568
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,364	△704
現金及び現金同等物の期首残高	8,626	7,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,991	6,637

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当企業グループは、情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売ならびにこれらに付帯するサービスの提供からなる事業を行っており事業区分が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。